

2019年度 学校評価 わらべ幼稚園

I 経営の重点にかかわること 評価段階 (A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:まったくできていない)

1 園教育・保育目標: やさしく・かしこく・たくましい子	自己評価	園関係者評価委員会から	
<p>園の教育目標を理解し目指す幼児の姿をイメージして、保育の計画を立てる</p>	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標はこどもと接する時の基本姿勢です。保育教諭自身の生き方にもかかわる目標だと思います ・園の周囲の環境が変わってきたが、先生たちは一生懸命、子どもたちのことを考えてくれている ・自然の驚異に対しての判断を的確にして欲しい
<p>2 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修でわらべで大切にしたい保育を話し合ってきた。乳児保育は今年1年で流れをつかんだので次年度は基礎を作っていきたい ・自分なりに目標を理解し保育をしてきた。計画をもう少し細かく立てていきたい ・子どもの様子や年齢により保育計画を立てた。季節の行事、歌、絵本など取り入れた ・子どもの姿を捉え、遊びを工夫してきた。乳児保育の計画会議を持つ時間が足りない 		B	
(園関係者評価を受けての改善)			
* わらべの保育を職員会議・研修で確認し合う * 年間・月案・週案を計画的に立てていく * 乳児保育の計画を立てていく			
<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の中で成長し仲間を大切にしている子 	A	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・集団という環境は大事にしたいですね ・関わりはとても大切だと思います ・子どものアイデアやひらめきをとらえ、環境作りをしていることが伝わった ・担任同士の連携をしっかりとると良いと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫な体を持つ子 		A	
(園関係者評価を受けての改善策)			
* 保育室の工夫をもう少し考えていきたい * 乳児の部屋や遊びの場での環境を整えていきたい * 園庭の整備も考えていく			
<p>子ども一人一人をよく観察し子どもの思いやサインを受け止めて保育できている</p>	A	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが何をやりたいのか、どんな風にしたいのかなどを表現できる保育も大切です ・乳児との対応は本当に難しいと思う ・乳児の子どもたちをよく見て保育してくれた。先生たちが共通理解を持ち保育にあたり保護者にも対応してくれた
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりをよく見て保育してきたが、読み切れない心の動きがあったと思う ・子どもたちの声や活動から保育につなげて興味を持ち楽しめるよう保育してきた ・担任同士で共通理解をもち情報交換し子どもの新しい姿を発見したり課題にした ・他学年と交流することで他の先生からも子どもの様子が聞けた ・子どもに言葉掛けを多くした。乳児は特に子どもに寄り添って心の安定を図り、遊びを展開したい 		A	
(園関係者評価を受けての改善策)			
* こどもたちに寄り添った保育を今後もしていく * 子どもの気持ちをキャッチできるよう様子を見たり遊びを広げていく			

II 各領域にかかわること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	園関係者評価委員会から	
こども園における教育及び保育	(1) 0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	一人一人の発達や経験を把握し理解した上でわくわくしながら園生活が過ごせるよう援助する	A	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・6年間を見通せる保育を期待します ・保育者と子どもの繋がりが良いと思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊び、生活、食事など子どもの発達に合わせ、声をかけたり、できた喜びを持てるよう心掛けた ・日々の生活や行事に追われて子どもたちがわくわくする体験が少なかった ・子どもの活動の中で褒めたり、励ましたり自信を持つよう働きかけた ・イメージを持った活動が子ども達の中で膨らみ展開されていった ・計画を立て、子どもたちの様子が見れて発見も増えた ・保育者が子どもたちと一緒にわくわく共感し楽しめる活動をしてきた 		A	<ul style="list-style-type: none"> ・入園を「わらべ」に決めた保護者に答えるよう頑張っって欲しい ・わらべらしい行事の在り方に先生たちの愛情が伝わり感激する ・子どもが遊びの目標を持ち毎日幼稚園を楽しみにしているのが良いと思う
		(園関係者評価を受けての改善) *乳児から幼児まで見通しをもって一人ひとりの発達に合わせ、教師も子どももワクワク感をもてる保育をしていきたい			
こども園における教育及び保育	(2) 1日の生活の連続性及びリズムの多様性への	スキンシップを取り、子どもに寄り添い、安心して穏やかな気持ちで生活できるよう援助する	A	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと保育教諭の関係を安定させ友だちのような関係を作って欲しい
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心できる、思いを受け止め、甘えられる場所を作った ・スキンシップをたっぷりとした。先生でもあり、母のような存在のように心がけた ・先生は見ていてくれる、分かってくると安心感・信頼感を持てるようにした ・褒めるときは大いに褒めるようにした・子どもの目線で対応した 		A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに寄り添ってくれるので子どもも安心して過ごしていた ・相談事を聴いてもらったり対応もしっかりやってくれる ・子どもと先生たちの触れ合いが微笑ましい
		(園関係者評価を受けての改善) *スキンシップを取り、子どもが安心感を持てる保育をしていく 褒めることを増やしていく			
こども園における教育及び保育	(3) 環境を通して行う教育及び	五感を通しやってみたいと思うような経験を広げていけるような環境を用意する	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を刺激し感受性豊かな子どもを育てたいですね
		<ul style="list-style-type: none"> ・裸足になったり、砂場・泥んこ・水遊びなど保育者が率先して遊んだ ・室内でも裸足の保育をしている ・子どもの興味関心を捉え、材料、遊び場、道具を準備してきた ・五感を通しての環境づくりはなかなか難しい ・畑での野菜作りやクッキング・食育を通し感覚を育てている ・乳児でも楽しめるリズム・踊り、泥んこ・マット遊び・新聞プールなどで遊べた 		A	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を使って遊ぶことはこの園の子より上手です ・こども園になり環境が変わっても子どもたちのことをよく考えてくれている ・子どものアイデアを受けとめ、遊びの発展につなげてくれている ・いろいろな体験をさせてもらっている
		(園関係者評価を受けての改善) *室内でのほだし保育を充実させる。 砂場遊び、泥んこ遊び、水遊び、川遊び、園外保育をさらに取り組む			

2 安全管理・指導	(1) 事故防止 防災	災害・不審者・交通安全など様々な状況を想定し、園児に安全行動を身に付けさせる	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室で視覚になった部分や閉鎖的になった場所がないか確認して保育をして欲しい ・安全面では繰り返しの訓練が保育教諭も子どもたちも必要です ・門の施錠をして欲しい ・園外保育で先生たちが子どもの安全に気を付けて指導してくれている
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 防災訓練を行い、子どもには絵カード・パネルシアター等で防災の意識化を図った 起震車体験もできて良かった ・訓練を繰り返す中で、上靴やクッションのかぶり方・ダンゴムシポーズが上手になった ・散歩に出かけるときは交通ルール・歩き方を教えていった ・乳児の場合は職員の動きの対策をしっかりしていきたい 		A	
(園関係者評価を受けての改善) * 安全管理は重点課題である 教職員の研修をし、共通理解をもち、訓練をしっかり行う					
3 保健管理・指導	(1) 健康教育の充実	基本的な生活習慣が身につく健康に過ごそうとする	A	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣は性格づくりにも影響します。丁寧の身につくよう指導を望みます ・乳児のトイレトレーニングを親と園で連携し対応してくれている ・親の相談をよく聴いてくれた
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活リズムに合わせて声掛け援助をした ・保健便り・食育便りを出し保護者にも健康な体づくりを働きかけた ・衣服の調節など自分で判断できる子が増えた ・手洗い表などを掲示したことで正しい手洗いを学んでいた ・身支度など個人差があるので個々のペースに合わせる ・手洗いの習慣・予防マスク着用・感染予防を徹底させた ・リュックの日たくさん歩き体力をつけている 		A	
(園関係者評価を受けての改善) * 個々に合わせた基本的な生活習慣を指導していく。 * 家庭の協力も働きかける					
4 特別支援教育	(1) 支援体制づくりの推進	個々の状況に合わせて支援計画を立て、全職員がかかわりを持ち援助しようとしている	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・支援は保育教諭間で共通理解ができるといいと思います。保護者からの信頼は子どもにも影響しますので大切にしたい ・特別支援に対して保護者同士が理解して子どもに説明できる機会があると良いと思う
		<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要としている子の支援ノートなど研修で学んだことを十分生かせなかった。次年度は支援体制を作り職員研修をしていきたい ・全職員が話し合える体制はまだ整っていない 情報共有が難しい ・保護者との理解に関して難しい現状がある ・職員会議で個々の子について話し合う機会を持っていきたい 		A	
(園関係者評価を受けての改善) * 職員研修をして情報共有していく * 保護者と話し合いを持ち理解してもらう					

5 組織運営	(1) 組織体制 の充実	<p>日常の保育や園行事について手紙、パネル、写真など利用して、保護者に説明や協力事項を伝え職員間で連携して教育保育を進めている</p>	A	評価	<ul style="list-style-type: none"> 園の方針を保護者に理解してもらい、一緒に子どもを育てていくことが大切 「わらべ」らしい保育ができていると思います 調理師さんも気さくで笑顔があり、一生懸命やってくれていると思う クラス便りで毎週の様子が伝わる プール参観も出来たらよい 年間行事予定が出て、仕事をしている親は予定が立てられて良い 持ち物は早めに連絡をして欲しい
		<ul style="list-style-type: none"> 食育だより・保健だよりを発行し保護者に伝えた 行事など保護者にお手伝いを募って参加してくれた方とコミュニケーションが取れた 園内の連携を取ることが難しい1年であった（乳児と幼児の関係性） 毎週クラスだよりを発行し保育を発信してきた 毎日のノート・クラス便り・希望面接などで保護者に対応している 懇談会や園だよりで写真を掲示した 		A	
		<p>(園関係者評価を受けての改善) *教職員の連携をとる *保護者に保育の様子を知らせたり、お手伝いなどに参加してもらう</p>			
6 研修	(1) 研修 体制の 充実	<p>「わらべ独自の保育」どんな遊び・環境・子どもの成長への手立て具体的な共通理解を進めているか</p>	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> 他園を見学させてもらうなど、他園の保育を学ぶ研修は有意義です。得たものを他の教諭と共有することが大切 園児と先生が密に関わり自然と触れ合っていると思う 行事の意味を教えてくれたり、旬の食材を味わうことができていた 食育や美味しい給食は先生たちが大切にしていると思う
		<ul style="list-style-type: none"> 研修に参加してきたが職員間に伝達する場がなかった。次年度は全体研修・乳児・幼児研修をしていく時間を作りたい。土曜日を使っての研修を検討し、わらべの保育を作り上げていきたい 各学年の目標や大切にしたい保育を文書化し伝える方法も検討したい 新しい保育教師にも共通理解できるよう研修したい 		A	
		<p>(園関係者評価を受けての改善) *研修・職員会議の時間を設け、わらべの保育について教職員間で話し合う</p>			
7 教育・保 育環境 整備	(1) 支教育・ 保育環境 の充実	<p>ごっこ遊びや子どもがイメージを豊かにする遊びの環境を工夫しているか</p>	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びは年齢に関係なく交わって遊びます。大事に育てて欲しいと思います 保育室を見るとおもちゃが少なく感じ少し寂しいと思う（おもちゃが多いのが良いわけではないが）
		<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びの中に一緒に入り、楽しさを伝えたり、必要なものを作ってきた。子どもの興味をキャッチし遊びの環境を作ってきた 年間を通しイメージ遊びを展開してきたがもっと楽しめることを経験させたかった。イメージしたものを膨らませて保育をしてきた 室内の遊びの環境を作ってきたがもう少し工夫が必要であった 子どものつぶやき思いを受け止め総合的な環境作りを意識してきた 乳児でもイメージのある遊びを取り入れることができる 		A	
		<p>(園関係者評価を受けての改善) *保育室の環境構成をしたり、子どもがイメージしたものを膨らませて保育をしていく *年齢に合った環境を整える</p>			

8 家庭との連携・協力	(1) 家庭教育への支援機能の充実	子どもの発達や活動の様子を降園時や保護者面接・懇談会で伝えたりお便り・ボードなどで積極的に知らせている	A	評価	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの相談に一般的な助言でなく、一人ひとりに合ったアドバイスをして欲しい 親も子どもと一緒に育てるような気持ちで対応するとよいと思う 保護者の方と良い関係を築けていると思う(先生と親が見分けがつかないほどである) バス利用者は先生と話す機会が少ないので面接の期間を作って欲しい 大切なお知らせはしっかり伝えて欲しい 子どもの様子で気になったことはノートで伝えたり電話連絡をして欲しい
		<ul style="list-style-type: none"> 乳児は送り迎えなのでその日の様子を直接伝えられ、関係を作れた 保護者への「いってらっしゃい」「おかえりなさい」の挨拶で保護者を安心して送り迎えできた 連絡ノートでその日のエピソードや伝えたいことを知らせ来園した時は声掛けを積極的に行った 心配事を知らせてきた保護者には面接する機会を持った 			
		(園関係者評価を受けての改善) *連絡ノートやお手紙、面接等で保護者に子どもの様子を伝える			
9 近隣の園との連携	(1) 近隣の園との連携の推進	近隣の小中学校との連携を図り、交流、情報交換を進める	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> 静岡市保育協議会などにも参加し行政に問題点など働きかけると良いと思う 学区内と小学校との行事が重ならに用にして欲しい
		<ul style="list-style-type: none"> 地域の子育て支援の会に参加し近隣の園の先生たちと話たりヒントを得た。 近隣中学生との交流が子どもたちは楽しめた。小学校との交流もしたい 近隣の小学校の先生との交流し子ども達の成長を確認できた 			
		(園関係者評価を受けての改善) *小中学校との交流を進めたり、地域の子育て支援会議での交流をしていきたい			
10 地域との連携	(1) 信頼される園づくりの推進	地域住民や施設等とのかかわりを大切にしながら、園だけではできない体験をする機会を持つようにする	B	評価	<ul style="list-style-type: none"> 地域に子どもの声が聞こえるのはいいものです。地域がそう思ってくれるよう関わっていけると良いと思う 先生も、子どももいつも元気に挨拶してくれる。地域の方と仲が良いのは嬉しい リュックの日の親子参加は良いと思うので回数を増やしても良いと思う
		<ul style="list-style-type: none"> 散歩に出かけたときは地域の人に挨拶や声掛けをしてきた デューサーサービスへの訪問は楽しい経験になった 周辺の方に園の行事や様子の発信し協力や理解を深めていきたい S型デイサービスに参加しお年寄りと交流してきた。園に招待することも考えてはどうか 			
		(園関係者評価を受けての改善)			

1 園から経営のまとめ（成果と課題）

- * 幼児1号児が2号児への変更が多かった
- * 満3歳児が9月に定員になりそら組が12名になった。その後も満3歳児入園の問い合わせが多かった
- * 0・1歳児の途中転園・入園が多くあった
- * 給食お手伝いを採用した
- * 教師間の交流や研修会議の時間を取り保育について、安全面など研修できた
- * 0歳児の1歳に達しない子どもの給食の在り方について考えてきた
- * 園庭遊びが増え、午後の預かり保育時も園庭で遊ぶようになった
- * 学年を超えての交流がよくできた

2 園関係者評価の意見を受けて（改善策）

- ・ わらべの保育について教職員間で研修し、泥んこ遊び・園外保育・イメージを持った遊び・ごっこ遊び・行事・食育についてなど共通認識をもつ
- ・ 子ども一人ひとりに寄り添い成長を認めながら、その子に必要な育ちを進めていく
- ・ 今後も子どもも先生もワクワクするような保育をしていく
- ・ 子どもの様子を保護者に知らせる

園関係者評価委員会まとめ

- ・ 園舎の南側にアパートが建設され、幼稚園側もいろいろな対応を取ってくれた
- ・ 先生方は気持ちの良い挨拶をしてくれる
- ・ 先生方は子どもたち一人ひとりの話をよく聞いてくれる。また保護者に対しても相談にもものってくれていた
- ・ 外遊びが増え、他学年との交流も更に進められて良かった
- ・ 毎日喜んで登園していく子どもを見れて嬉しい
- ・ 先生も子ども達もワクワクできるような保育をさらに進めて欲しい